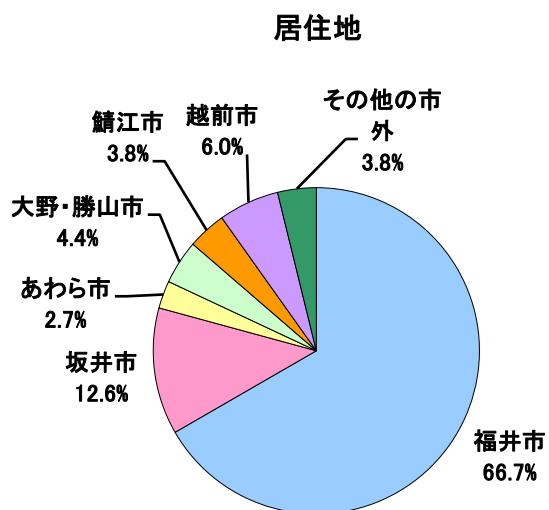
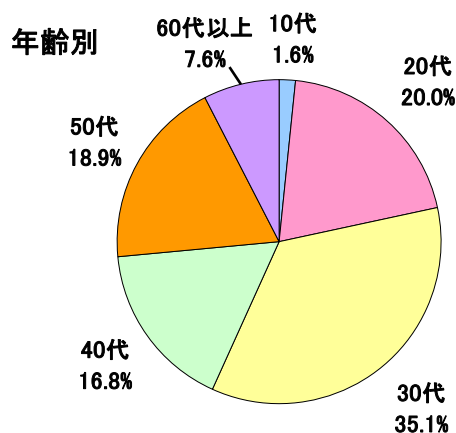
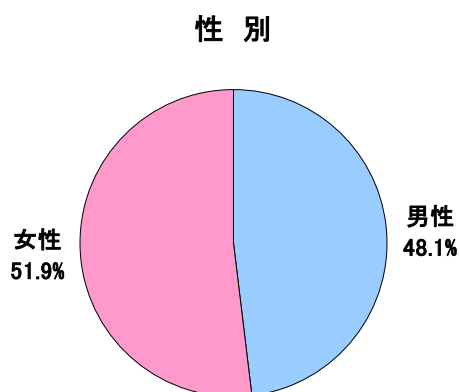


## まちなかイベント調査結果概要

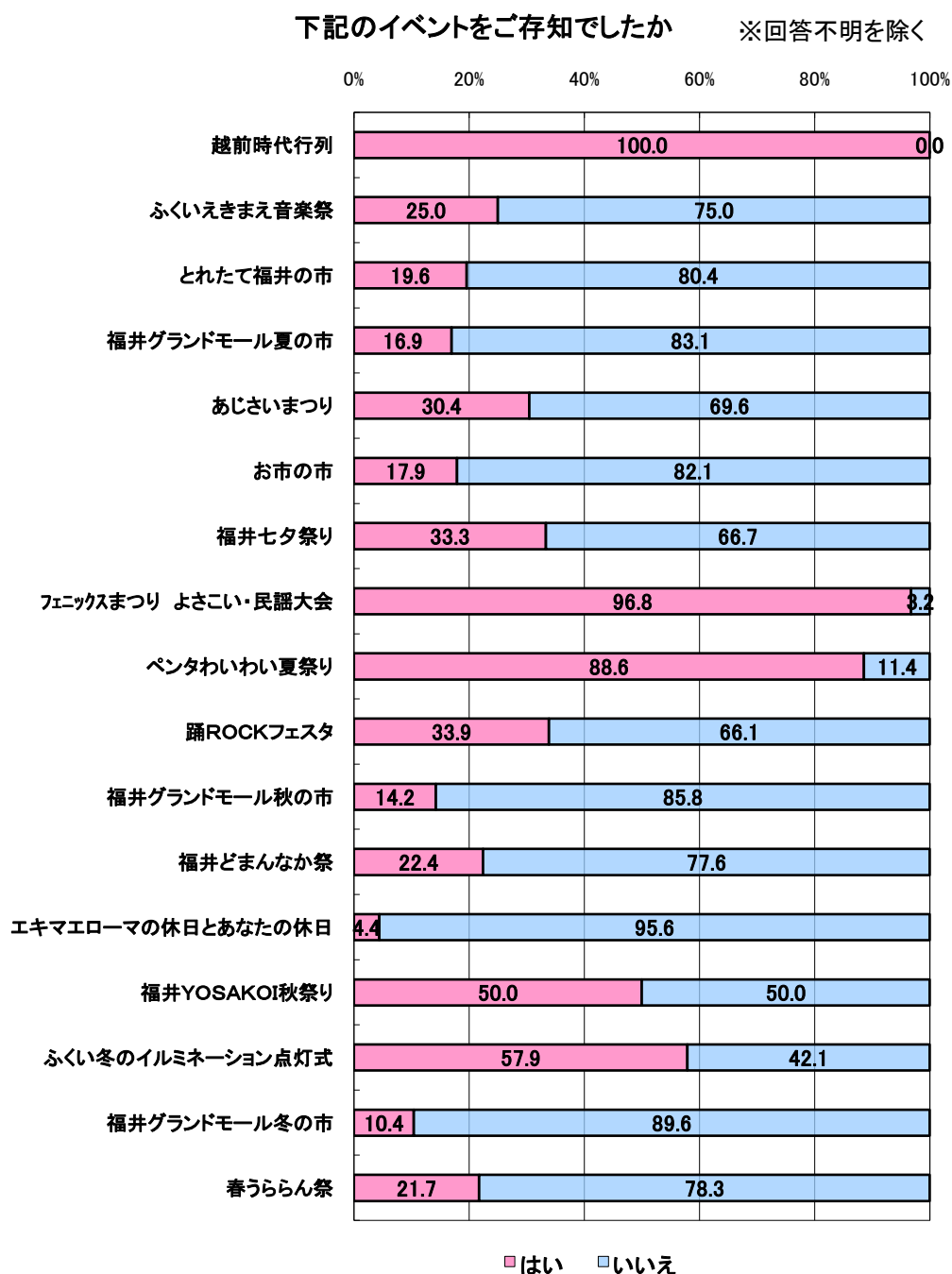
- 1 目的 中心市街地で開催するイベントへの参加状況を把握し、今後の事業の参考とするため実施した。
- 2 調査対象 福井市内に勤務している会社員 714 人
- 3 調査方法 FAX によるアンケート調査形式
- 4 調査期間 平成 21 年 5 月 11 日（月）～5 月 22 日（金）
- 5 回答状況 有効回答数 185  
回 答 率 25.9%
- 6 回答者属性



## 7 調査結果

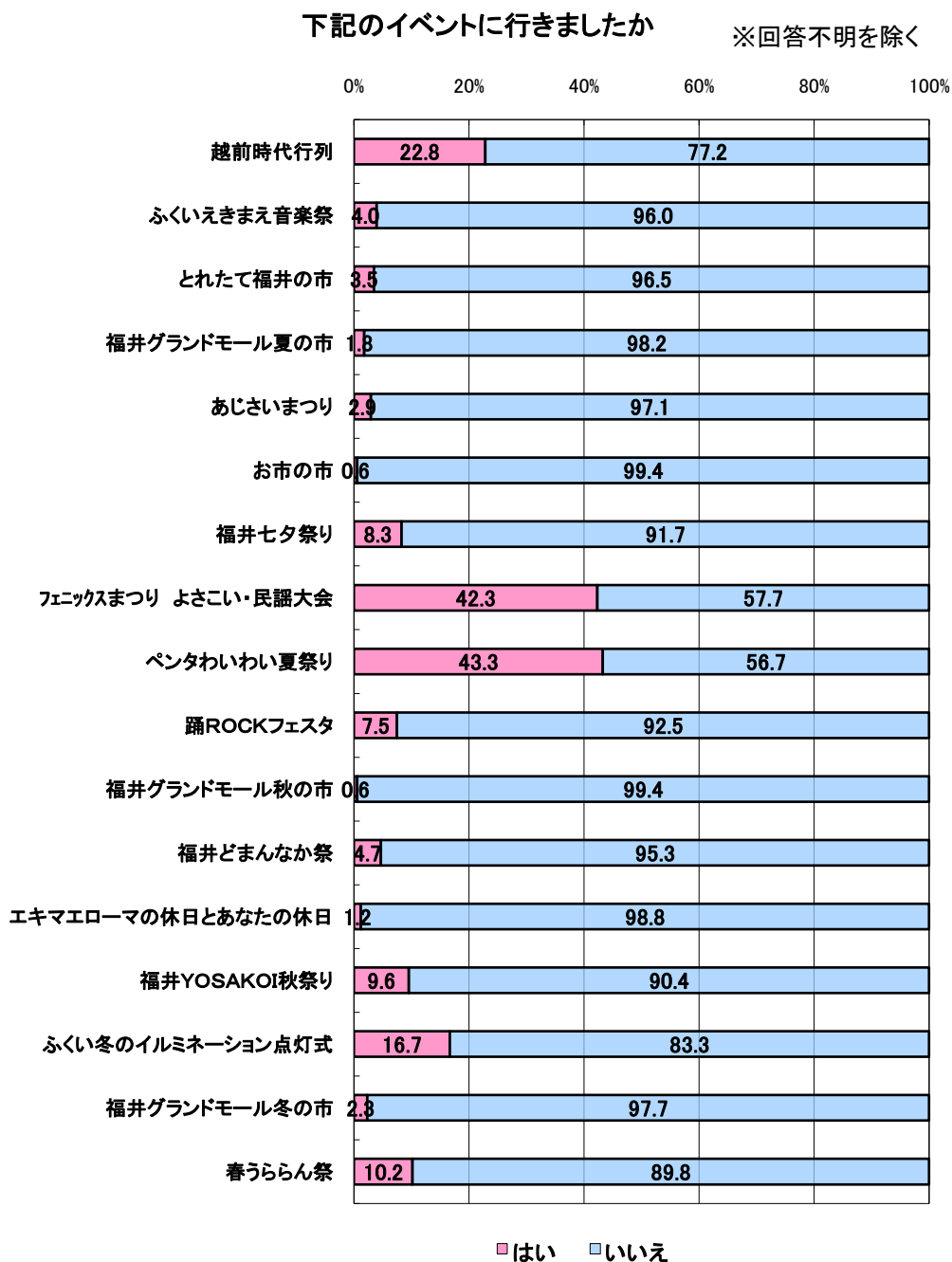
### (1) イベントの認知度

中心市街地で開催されたイベントの認知度については、「越前時代行列」は回答者全員が認知していた。次いで、「よさこい・民謡大会」は96.8%、「ペンタわいわい夏祭り」は88.6%となっており、開催歴が長いものは認知度が高くなっている。



(2) イベントへの来場

昨年のイベントへの来場状況は、「ペンタわいわい夏祭り」と「よさこい・民謡大会」が4割以上の方が来場していた。これらは福井フェニックスまつりに関連して同日に開催されているため、相乗効果があったものと思われる。次いで「越前時代行列」が22.8%、「福井冬のイルミネーション点灯式」が16.7%の来場があった。なお、10%を超える人が来場したのは5つのイベントにとどまった。

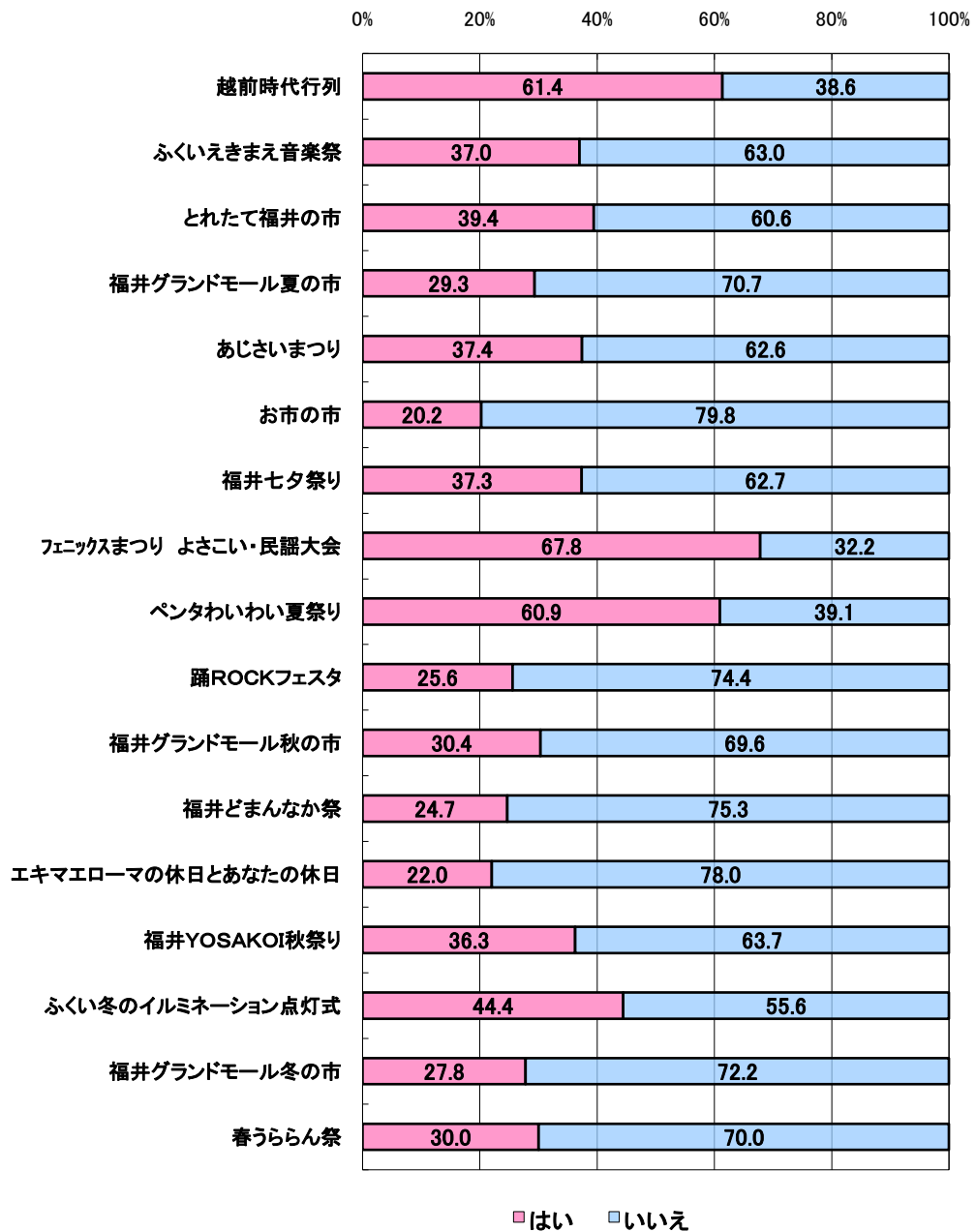


(3) 今後行ってみたいイベント

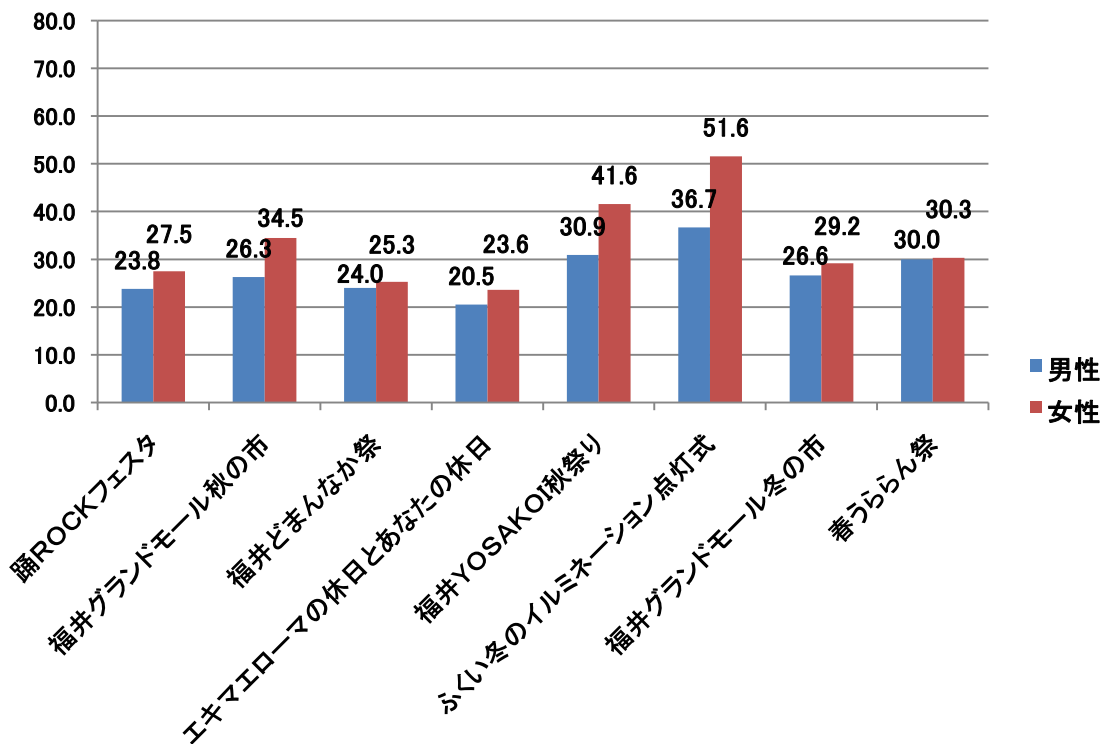
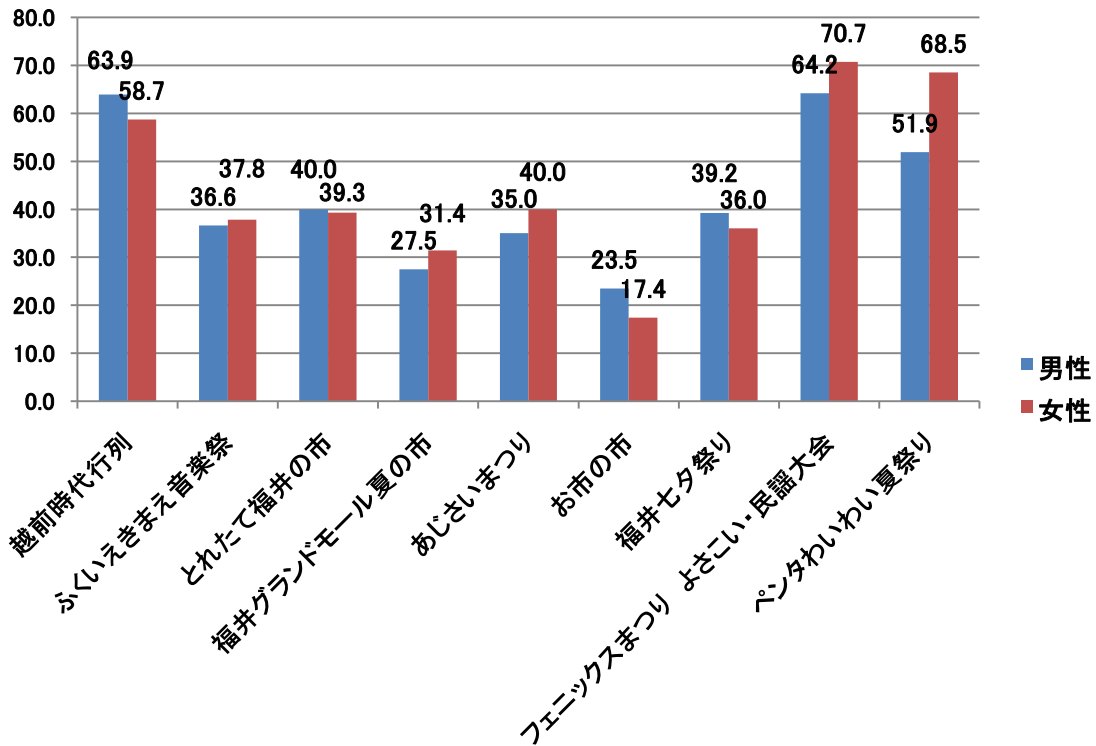
今後行ってみたいイベントについては、「よさこい・民謡大会」が67.8%、「越前時代行列」が61.4%、「ペンタわいわい夏祭り」が60.9%となっている。また、「とれたて福井の市」は認知度が19.6%と低かったが、期待度は39.4%で高くなっている。全般的に認知度を大きく上回っており、今後の期待が伺えた。

下記のイベントに今後行ってみたいですか

※回答不明を除く

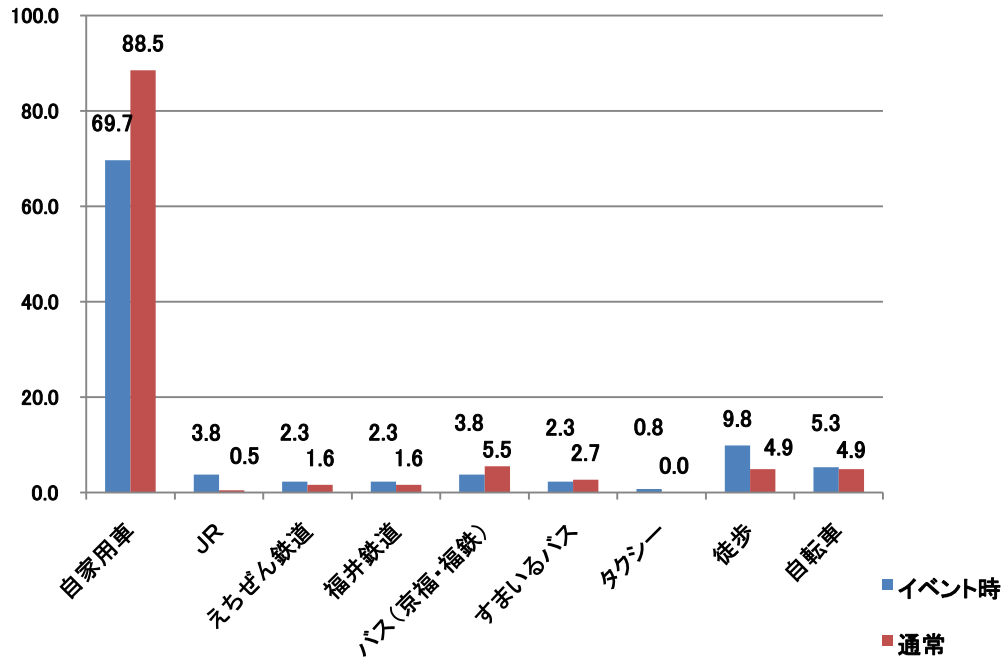


性別で見ると、男女とも1位から3位まで「越前時代行列」、「よさこい・民謡大会」、「ペンタわいわい夏祭り」が占めたが、男性の4位は「とれたて福井の市」、5位は「福井七夕祭り」で、女性の4位は「ふくい冬のイルミネーション点灯式」、5位は「福井YOSAKOI秋祭り」と分かれた。

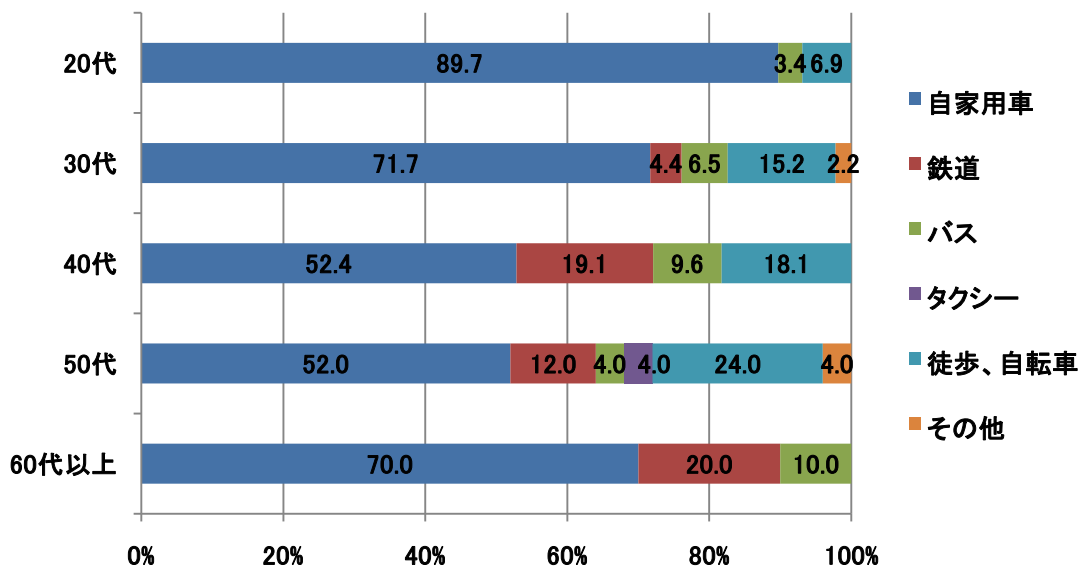


(4) 中心市街地への交通手段

イベント時の交通手段については、通常時と比べると「自家用車」が88.5%から69.7%、「バス（合計）」が8.3%から6.1%と低下した。一方、「徒歩」と「自転車」、「鉄道（合計）」が増加している。これは交通規制や駐車場の問題に起因すると考えられる。

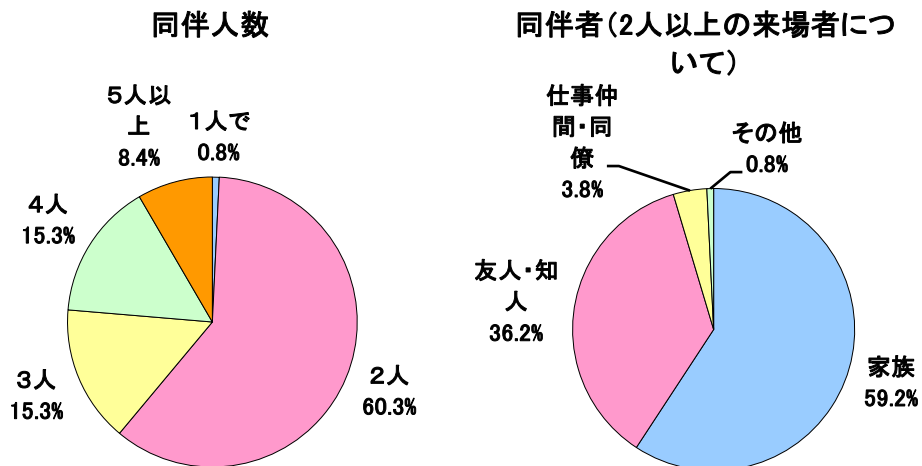


年代別で見ると、イベント来場時に「自家用車」を使う割合が20代で90%弱、60代以上で70%と高くなっている。



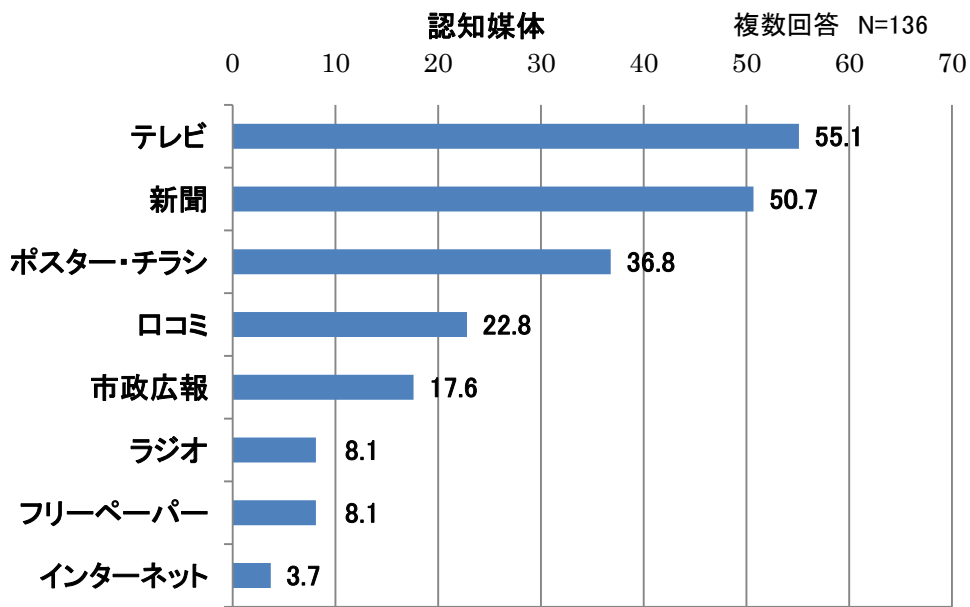
(5) 同伴人数・同伴者

中心市街地のイベントには、ほとんどの方が「家族」や「友人・知人」など複数で来場されている。

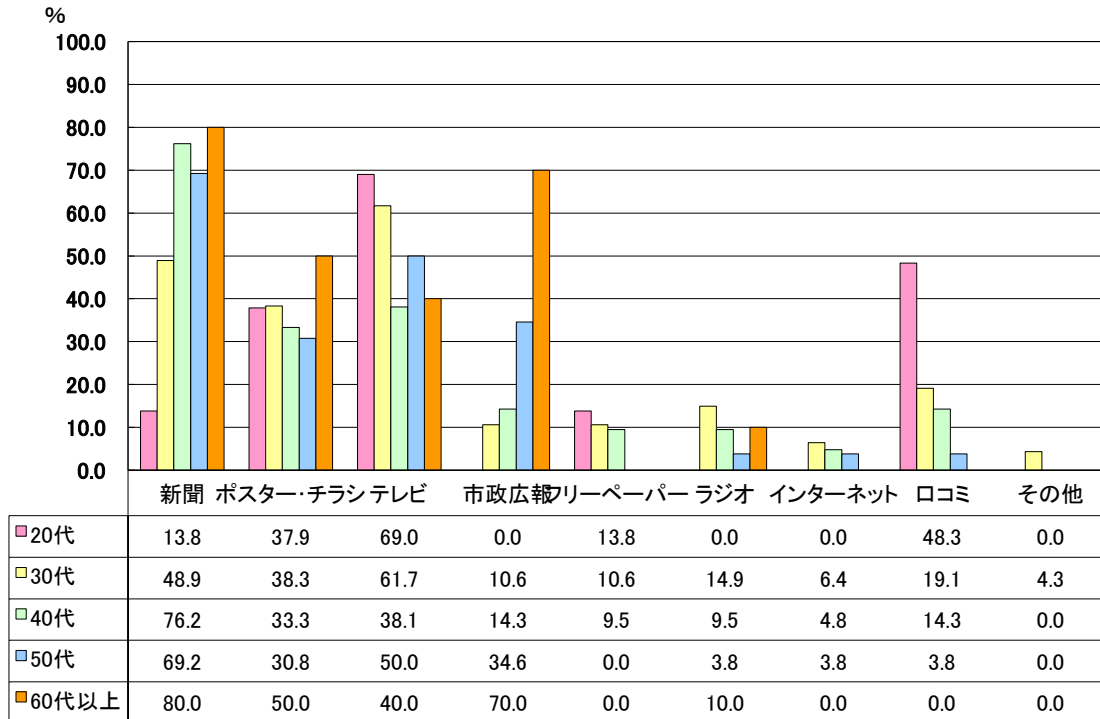


(6) 認知媒体

認知媒体としては「テレビ」が 55.1%と最も多く、次いで「新聞」が 50.7%、「ポスター・チラシ」が 36.8%、以下「ロコミ」、「市政広報」の順となっている。「インターネット」は 3.7%で、自発的な検索に比べると多くの人の目に触れるメディアの影響が強い。

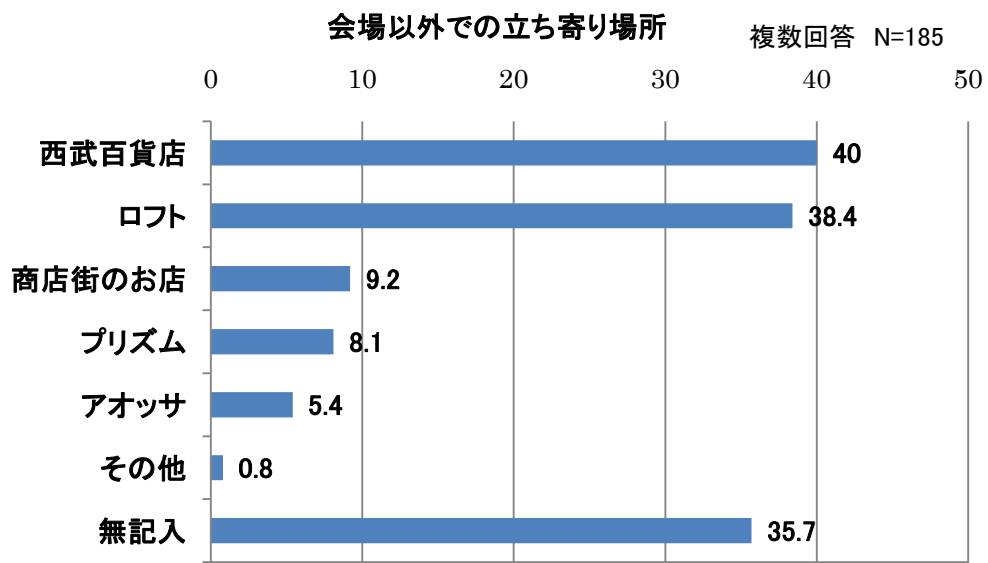


年代別でみると、20代、30代は「テレビ」、40代以上では「新聞」が最も高くなっていった。また、60代以上では「市政広報」も効果的な媒体となっており、20代では「口コミ」による認知が高かった。



(7) 会場以外での立ち寄り場所

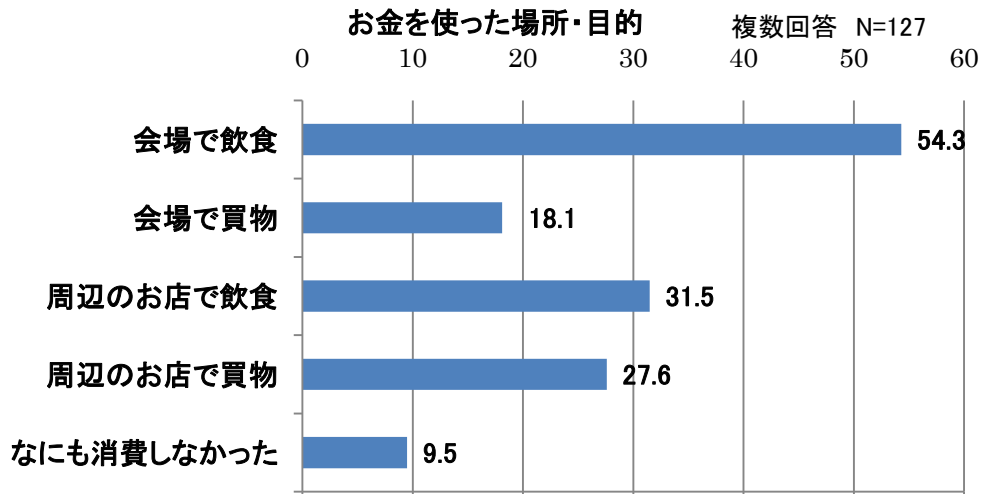
イベント会場以外への回遊性については、「西武百貨店」・「ロフト（西武新館）」に約4割の人が訪れ、以下「商店街のお店」、「プリズム福井」、「アオッサ」と続く。「無記入」（会場以外に立ち寄らない）が35.7%となっており、来場者の3分の2が、いずれかのお店に立ち寄っている。



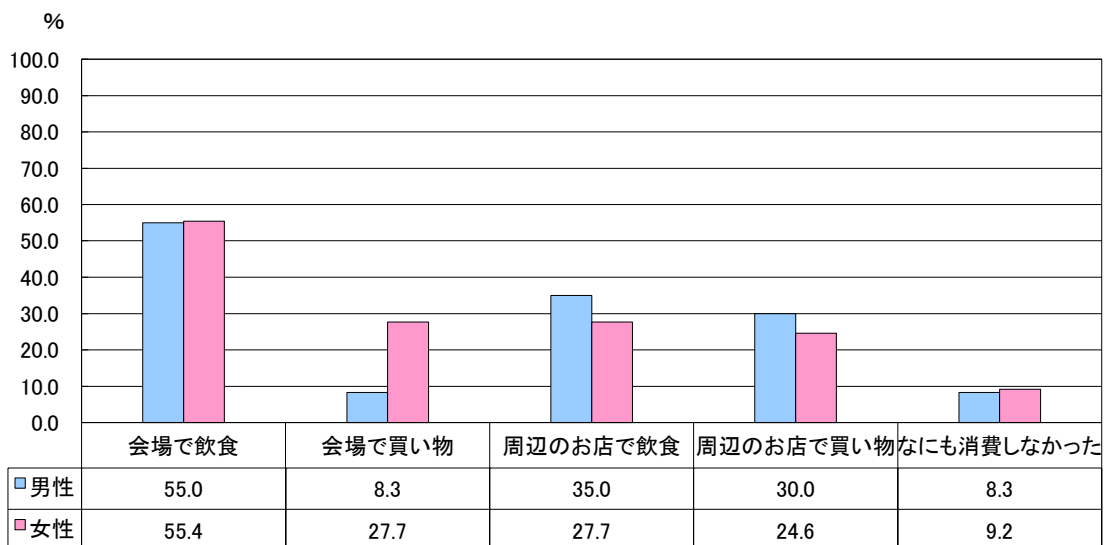


(8) お金を使った場所・目的

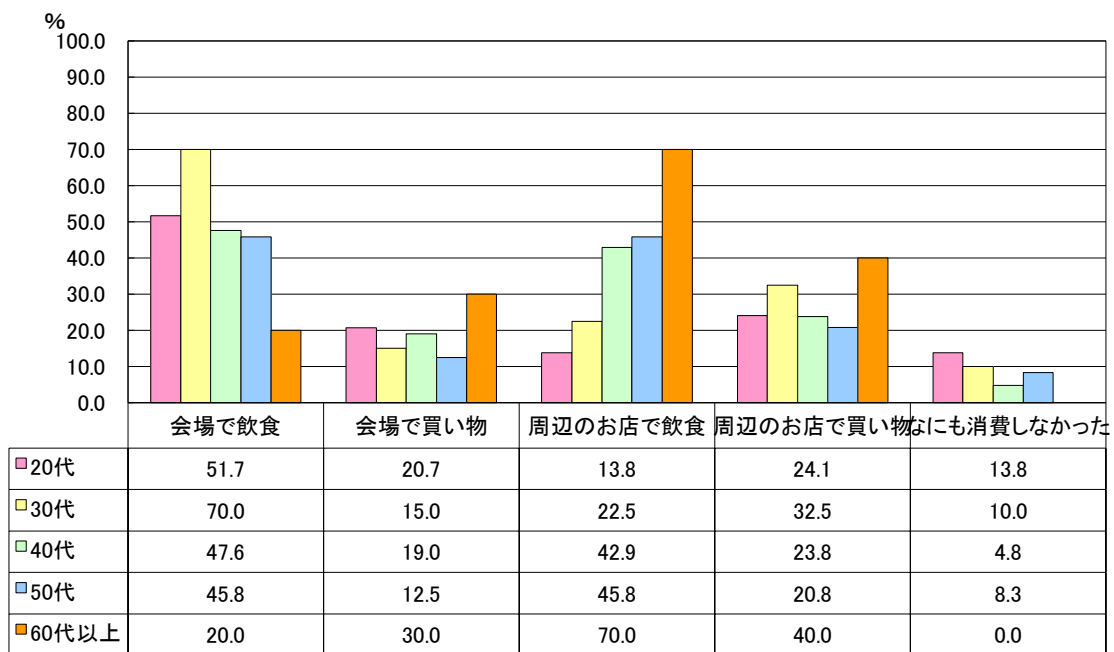
お金の使い道としては、「会場で飲食」が54.3%と最も高く、次いで「周辺の店で飲食」が31.5%だった。「買物」は「周辺のお店」が「会場」を上回った。「飲食」・「買物」両方の消費は全体の17%で、「なにも消費しなかった」は9.5%であった。



性別でみると、「会場で飲食」は男女がほぼ同数であったが、「会場で買物」は男性の8.3%に対し、女性が27.7%と大きく上回った。「周辺の店で飲食」と「周辺の店で買物」は5~7%男性が高かった。



年代別でみると、「飲食」については20代と30代は「会場」が「周辺の店」を大きく上回ったが、40代と50代は「会場」と「周辺の店」がほぼ同数で、60代以上は「周辺の店」が「会場」を大きく上回った。「買物」については、全ての年代で「周辺の店」が「会場」を上回っていた。



(9) 消費金額

イベント来場時の消費金額については、「1,000円から2,000円未満」の消費が30.5%、次いで「2,000円から3,000円未満」が26.6%となっており、3,000円未満が65.7%となっていた。また、「0円」が7%だった。

